

# 日本歯科新聞

2010年(平成22年)

6月 8日

〈発行所〉

日本歯科新聞社

〒101-0061

東京都千代田区三崎町2-20-4

電話03(3234)2475

FAX03(3234)2477

http://www.dentalnews.co.jp/

jdn@dentalnews.co.jp

年間購読料18,900円(税・送料込)

郵便口座番号00120-5-130369

厚生労働省記者クラブ加盟社

## ベリリウム等検出されず

### 海外技工物 厚生労働省研究班が報告

TBSの報道番組で中国製の歯科技工物から発がん性物質ベリリウムが検出された問題で、歯科補綴物に対する国民の安心、安全への不安が高まり、多くの国会議員が海外技工を含むこの問題での厚労省や厚生労働省の対応を質した。厚生労働省が5月末に発表した「歯科補綴物の多国間流通に関する調査研究」の主任研究者で、新潟大学大学院歯学総合研究科教授の宮崎秀夫氏は研究総括で、世界の4地域から収集した陶材焼付焼冠からはベリリウム等の物質は検出されなかったと報告した。

同調査研究は、歯科材

料の流通実態を把握する

ことで、歯科材料を使用

する歯科補綴物の実態を

予測するため、厚生労働

科学研究費補助金(地域

医療基盤開発推進研究事

業)として行われた。

それによると2008

年の主要歯科金属の出荷

額は歯科用金銀パラジウ

ム合金と歯科用貴金属合

金の2品目で90%超を占

め、出荷量では歯科用金

銀パラジウム合金が60・

0%、歯科用銀合金が13・

8%、歯科用コバルト・ク

ロム系合金10・8%。

歯科用合金の生産額は

58億1351万円、輸入

額34億7595万円で、

生産額に占める割合は5

・6%だった。

出荷額は国内が6333

億8837万円、輸出額

9478万円で出荷額は

占める割合は0・01%と、

輸出入共に少なく、自国

内で生産・出荷がほぼ完結されている。

また、世界の4地域から陶材焼付焼冠を収集し、ADA(米国歯科医師会)の調査では実施され

なかった金属部分を対象

としたEPM A(電子線

マイクロアナライザー)

とICP(誘導結合プラ

ズマ発分行光分析装置)

による成分分析を行い、

表示されている成分構成

との差異、指定した微量

元素の有無を検討した。

その結果、カドミウム、

鉛はすべての試料で検出

限界0・1質量%未満、ベ

リリウム、カドミウムお

よび鉛の検出量は検出限

界の100ppm(実質

的な検出限界10ppm

0/001質量%)未満

であり、実験に供した試料中にベリリウム、カドミウム、鉛は含有されていなかったとする判断を下したとしている。

更に、08年2月に報道された海外の歯科技工所で作製された歯科技工物から鉛が検出された問題についてもADAが検証した結果を説明。口腔内よりも厳しい環境下で試験用に500ppmの高濃度による溶出試験を行ったが鉛は検出されなかったなどとしている。